

# 大築城跡 改訂版(比企郡ときがわ町)

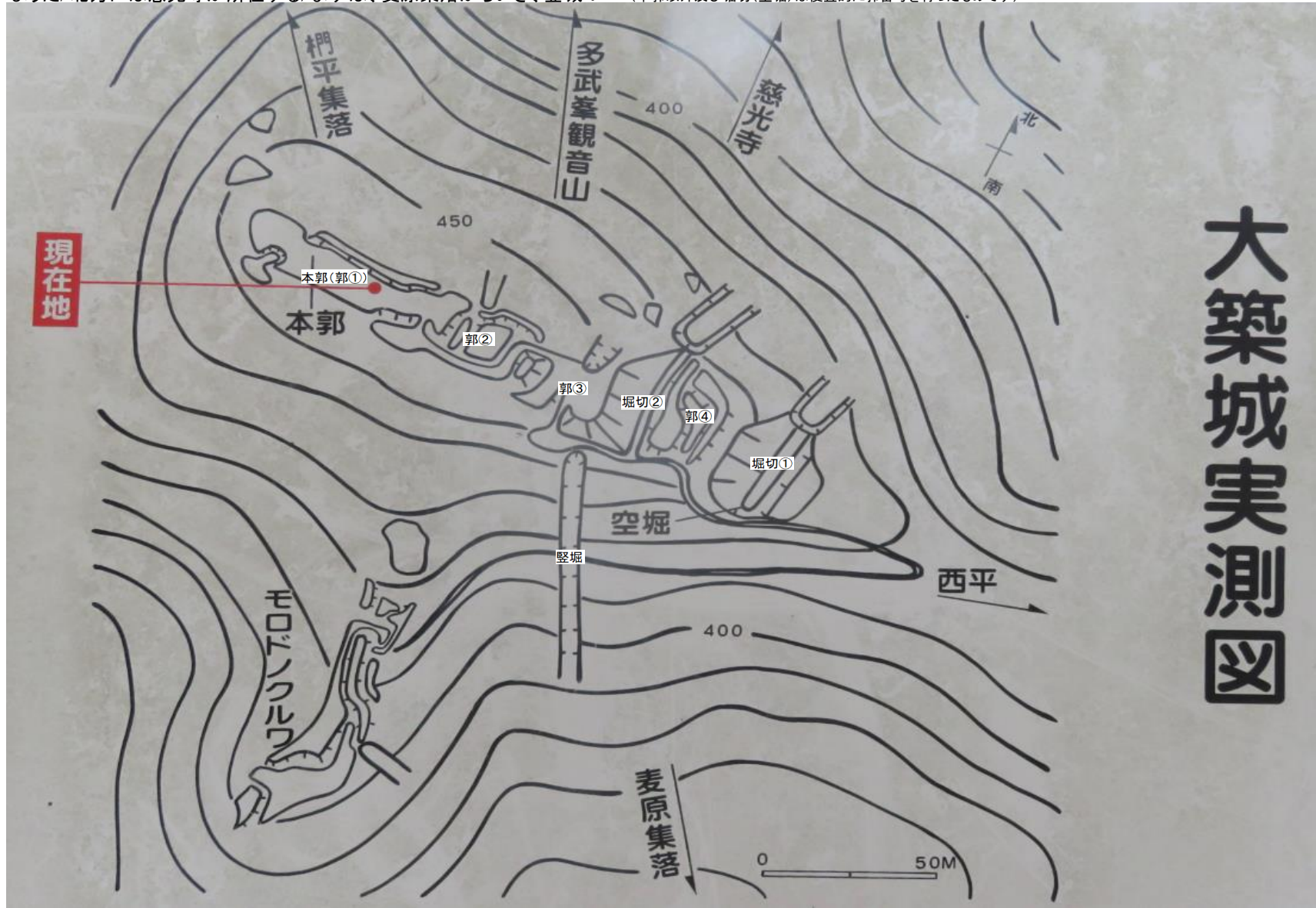
おおづくじょうあと

ときがわ町柵平地区から見た、大築城跡が展開する大築山(右前方)/手前の建物は「日本一不便な山荘」と銘打った癒しの隠れ湯

 [video](#)



本郭にあった縄張図/モロドノ郭はその一群とは少し離れた下に所在している/登城口は西側のときがわ町柵平地区と東側の越生町麦原集落がある  
ようだ/北方には慈光寺が所在する/まずは、麦原集落からいざ、登城！ (本郭以外及び堀切(空堀)は便宜的に郭番号を付ったものです)



# 大築城実測図

「あじさい街道」を進み、この城山(大築城跡の別称)の表示がある場所を右折する/この右手に住吉神社が所在する





ここがその登城口



さて、こんな所を登り始める



すぐに、こんな状況

[video](#)



前方に行き先表示板が見えて来た





ここで二手に分かれる

 video



右手の道でも城跡へ行けるようだが・・・



「城山」まではどちらを進んでも同じ時間のような



モロドノ郭方向の左手に進む



こんな塩梅に少し下がって進む



途中、こんな行き先表示板があった

 video



表示板の方向に進むと、モロドノ郭の所在する地点が見えて来る



前方の頂上の木々が薄れている辺りがモロドノ郭

 video





途中、このような広くなだらかな地形があったが、右手から左手に谷あいの斜面が下って来ている

 video



そこからまた登って進む



頂上付近に近づく、虎口状になっている



この上部がモロドノ郭/右前方に説明板などが見える

 video



そこで、右手を見たところ/マウンドのような部分は土塁



同じく、左手を見たところ



その先は平場に続いているようだ



モロドノ郭に上がると、前方には下って行く道がある





こな塩梅



こちらを下って行くと、柵平方面(硯水・馬場方面)に至るようだ



そこで、右手を見たところ/右手の道を進むと、一段上の尾根に展開する郭群へと至る

 video



# 城山

(大築城)

天正の頃 北条氏の家臣松山城主上田能  
登守朝直入道安独齋がこの地に壘を築  
き守備兵を置く

標高 440 m

同じく、左手を見たところ/前方がモロドノ郭



前方へ進んで見たところ/ここで一段低くなっている/右手は土塁



そこで、振り返って見たところ



同じく、土塁の上に登って見たところ

 video





そこで、振り返って見たところ/土塁が続いている



その土塁上を進んで見たところ/右手は急峻な斜面となっている



そこで、左手を見たところ/ここが一段下の平地



土塁の先はこのように一段高くなった檜台のような地形となっている

 video



その檜台に進んでみる

 video



檜台の先端下は断崖となっている



そこで、右下を見ると一寸した平地があった



右手に下りて見たところ/左上が檜台





檜台から、振り返って土塁を見たところ



そこで、右手を見たところ



土塁上を進んで見たところ



さて、ここが一段下の平場/ベンチがあり、眺望も開けているようだ

 video




こな塩梅/東方向

 [video](#)



足元にはこんな表示板があった

 video



そこで、右手を見たところ



更に右手を見たところ/右手は檜台





その更に右手の土塁を順次見たところ









さて、ここから一段上に展開する郭群へと進もう



右手のマウンドは土塁



こんな塩梅

 video



土墨はかなり続いている





少し進んで、振り返って見たところ/左手が土塁



土塁はそこで止まっていて、その先は郭群(左上)の下を東方向に回り込んで進む



右下は、足を滑らせたら谷底まで転げ落ちていく

 [video](#)



少し進むと、左上に竪堀があった/ここを直登すると、郭3手前の腰郭辺りに辿り着くようだ

[video](#)



直登はせずに、真っ直ぐ進んで東方向から回り込むこととする



行き先表示板が見えて来た



ここを左手に回り込むと、一段上の郭群に行けるようだ/真っ直ぐ進むと小築山方面らしい

 video



さて、ここから堀切1→郭4→堀切2→郭3→郭2→本郭(郭1)と進もう





前方に土塁(切岸)が見える

 video



こな塩梅

 video



土塁(右手)の先に進む/前方の上部は郭4

 video



その右手を見ると、ここが堀切1/右手が土塁(切岸)、左手は郭4の切岸

 video



そこで、右手を見たところ



同じく、左手を見たところ/上部が郭4



これは右手の土塁上から郭4方向を見たところ/手前が堀切1/西方向に見たところ

 video



堀切1を見下ろしたところ





そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



同じく、振り返って土塁上部を見たところ/東方向に見たところ



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



さて、堀切1から郭4を目指して西方向に進む/右手の上部が郭4



この先の右上が郭4

[video](#)



ここが郭4/左手は郭4の土塁





左手から見たところ



更にその上部から、郭4と土塁(左手)を見たところ



そこで、左方向を見ると前方の上部が郭3/その手前に堀切2/右手は郭4の土塁

 [video](#)



これは右手の郭4の土塁を見上げたところ



正面の上部が郭3で、その手前は堀切2



その左手には西方向に更に道が続いている



これが堀切2/左手が郭3の切岸、右手は郭4の土塁/南側から北方向に見たところ

 video



そこで、左手を見たところ





同じく、右手を見たところ



少し北方向に進んで、堀切2を見たところ

 video



これは郭4の土塁上から郭3の切岸を見たところ/切岸の上部が郭3/西方向に見たところ

 video



その手前の堀切2を見下ろしたところ



そこで、振り返って郭4を見下ろしたところ/東方向に見たところ



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



さて、堀切2から少し西方向に登って進むと、先程あった竖堀の上部があった/振り返って見たところ





こんな塩梅に南側の斜面を下り落ちている

 video



この豎堀は堀切2と郭3虎口手前の腰郭の辺りから南側に下り落ちているのが見て取れる/いよいよ、郭3→郭2→本郭(郭1)へと進もう



ここが郭3への虎口/右上が郭3

 video



その左手前の、この平場が腰郭



虎口から見下ろしたところ/郭3の出柵形とも前郭ともされるが・・・



ここが虎口/上部が郭3

 video



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ





郭3に進んで、北方向を見たところ



虎口を右上から見たところ

 video



郭3の中央辺りで、西方向を見たところ/正面は郭2の切岸で、上部が郭2/右前方に郭2への柵形虎口が見える

 [video](#)



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ/前方が郭2への柵形虎口



振り返って東方向を見たところ/この先が堀切2

 video



そこで、右手を見たところ



同じく、左手を見たところ





その先(北側)には虎口状の地形が見られ、下には腰郭があるようだ

[video](#)



前方がその腰郭



アップで見たところ/この下にも腰郭のような平場があるようだが・・・



さて、郭2への枡形虎口へと進もう

[video](#)



これは枡形虎口左手の土塁

 video



同じく、右手の土塁を見たところ

[video](#)



その右手の土塁はこんな感じで前方に続いている/西方向に見たところ

 [video](#)



その左手を見たところ/ここが郭2





枡形虎口から振り返って、郭3方向を見たところ



これは郭2の中央辺りで東方向に見たところ/正面は土塁

 video



振り返って西方向を見たところ/前方の上部が本郭(郭1)

 [video](#)



同じく南方向を見たところ/この南側には郭2から本郭(郭1)にかけて、東西に続く一段低い帯郭状の地形がある

[video](#)



そこに下りて、帯郭を東方向に見たところ



振り返って西方向を見たところ/前方で一段上がっているが、帯郭はそのまま本郭(郭1)に沿って西方向に続いている



これは帯郭から北方向に郭2を見たところ

 video



そこで、右手を見たところ





同じく、左手を見たところ



帯郭の先を見よう/ここで一段上がる

 video



その先はこんな塩梅に少し広い平場となっており、ここは腰郭のようだ/ここを通過して右上の本郭(郭1)に入るルートのように、本郭(郭1)の前郭ということ  
であろうか [video](#)



右手を見ると、本郭(郭1)への虎口と思われる地形が見て取れる



その虎口から北方向に本郭(郭1)を見たところ

 video



振り返って東方向を見たところ



ここで一段下がっている/こちらは帯郭状



さて、現在は郭2の北西隅にも郭2から本郭(郭1)へ進むルートがある

[video](#)





ここから本郭(郭1)へ上ってみよう/右上に説明板が見える

[video](#)



## 大築城実測図



## 大築城跡

この城跡は、本郭が標高四六五メートルの地にあり、周囲の斜面には郭やそれを結ぶ通路、防備のための空堀などが残っており、中世の山城としては県内でも有数の規模と遺構を誇るものである。

大築城は、小田原北条氏の家臣、松山城主上田朝直が、一山七五坊を有し関東屈指の大寺院であった天台宗関東別院慈光寺を攻略するに際して築城し、北方五キロメートルに望む慈光寺を焼き打ちしたものと考えられている。

なお、この山の周辺には、遠見、馬場硯水、大木戸、モロトノクルワなどの地名が残っている。

平成六年三月

都 幾 川 村  
都幾川村教育委員会

# 大築城跡

この城跡は、本郭が標高四六五メートルの地にあり、周囲の斜面には郭やそれを結ぶ通路、防備のための空堀などが残っており、中世の山城としては県内でも有数の規模と遺構を誇るものである。

大築城は、小田原北条氏の家臣、松山城主上田朝直が、一山七五坊を有し関東屈指の大寺院であった天台宗関東別院慈光寺を攻略するに際して築城し、北方五キロメートルに望む慈光寺を焼き打ちしたものと考えられている。

なお、この山の周辺には、遠見、馬場硯水、大木戸、モロドノクルワなどの地名が残っている。

平成六年三月

都 幾 川 村  
都幾川村教育委員会

振り返って郭2方向を見たところ



ここが本郭(郭1)/東側から西方向に見たところ



ここからは慈光寺方面が良く見える


 video



本郭(郭1)の中央辺りで、西方向を見たところ/右手は土塁が続いている



振り返って、東方向を見たところ/左手が土塁

 video





その土塁上に登って、東方向を見たところ

[video](#)



振り返って、西方向を見たところ

 video



ここは西側の先端部分/説明板らしきものが立っている



これがその説明板らしきもの/字が消え去って、ただの板と化している



そこで、左下を見ると腰郭と思われる平場が見える


 video



アップで見たところ/この下にも別の腰郭があるようだ



これは少し右寄りの先端部分から本郭(郭1)方向を見たところで、ここが西側の虎口のような

 video



さて、今度は麦原集落とは反対側の櫛平地区からアクセスしてみよう/これは登城口の少し北側に所在する大木戸

[video](#)





右手から見たところ/説明板が立っている

[video](#)



本来はこの街道筋を塞ぐように設置されていたようだ

## 大木戸の由来

南方にそびえる大築山(大津久山)に

戦国時代、松山城主上田朝直ともなお あんどくせい(安独斎)

が出城を築いたといわれ、防備のため

の空堀や郭跡くるわあとなどがいまも残っている。

当時この街道を往来する者を監視

するため、大木戸がおかれたと伝わ

っている。

そこから、二股の道路を左手の川沿いに進むと材木工場があるが、更に南方向に進んで行く



途中、今般の台風被害でこの先は車両通行止めになっていた



その先に、「大築城跡方面」と記された行き先表示板があった



そこを左手に下りて川を渡る

 video



川を渡って、振り返って見たところ

 video



さて、ここから山へ入る





途中、幾つかの巨石が斜面に引っかかっている

 video



反対側から見たところ



ここにも！/この先に「越せん岩見晴台」があるようだ



反対側から見たところ



ここが「越せん岩見晴台」

 video



その表示板/倒れている



これが、そこから見た柵平地区の光景



更に登って行くと、行き先表示板が立っているのが見えて来た





ここは尾根筋で、左手に進むと大築城跡方面

 video



右手のこちらは馬場・硯石方面に行けるようだ



さて、大築城跡へ向けてもうひと頑張り！



途中、このような土塁状の地形があった



反対側から見たところ/右手は腰郭のような平場となっている

 video



更に細い尾根筋を進む



ここで、左上に登る道があり、行き先表示板が立っている



左手に登ると大築城跡、真っ直ぐ行くとモロドノ郭方面のようだ

[video](#)





大築城跡方面の途中に「柵平部落一望見晴台」があるようだ



ここから少しハードな山登りとなる



ここが「柵平部落一望見晴台」

 video



やはり、その表示板が倒れていた



木々があって余り眺望は良くなかった



さて、最後の難所を地を這うようにして登り切る



やっと、前方に開けた部分が見えて来た



ここが本郭(郭1)の西側の虎口/前方が本郭(郭1)






さて、前方は「あじさい街道」を進むと城山の表示があった場所に所在する住吉神社





社殿の左手に由緒書きが見える

 video



「口碑に『往時城山城の築城に際し当地に土着した者たちが村の開拓にかかわった』と」記されている

# 住吉神社

大字・美原の鎮守で、慶長三年戊辰九月の造立（棟札）  
祭神

底筒男命・中筒男命

上筒男命・神功皇后

行事

春祭 三月 だんご待

天皇様 七月 八坂神社

秋大祭 十月 獅子舞

新嘗祭 十一月

口碑に、往時城山城の築城に際し、当地に土着した者たちが村の開拓にかかわったと。

平成四年三月吉日

## 参考ホームページ

<http://joe.ifdef.jp/02-003ohzuku/ohzuku.html>

<http://yogokun.my.coocan.jp/saitama/tokigawamura.htm>

<https://ckk12850.exblog.jp/11681043/>

<https://sites.google.com/a/onodenkan.net/lie-dao-cheng-zhi-ji-xing/qi-yu-xian/da-zhu-cheng>

<https://www.hb.pei.jp/shiro/musashi/ohzuku-ijo/>

[https://blog.goo.ne.jp/ihcirot/e/b9b9bf16e001925fa19a1182528a12c5?fm=entry\\_aws](https://blog.goo.ne.jp/ihcirot/e/b9b9bf16e001925fa19a1182528a12c5?fm=entry_aws)

<https://joukan.exblog.jp/21886372/>

<https://ameblo.jp/napo-iou/entry-12648647239.html>

<http://kogasira-kazuhei.sakura.ne.jp/subdir-siropage/ohtukijou.html>

<http://midnighttraveler.seesaa.net/article/200322740.html>

<https://kurokuwa.hatenablog.com/entry/35774729>

<https://gr1rsk.blog.ss-blog.jp/2003-12-23-1>

